

名古屋市 **蓬左文庫**
TEL (052) 935-2173
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <https://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を引き継いだ文庫です。蔵書数は約12万点。「河内本 源氏物語」など7件154点の重要文化財、尾張徳川家初代義直が徳川家康の遺品として譲り受けた駿河御膳本、歴代藩主が収集した書物を中心に、全国的にも優れた古典籍を収蔵・公開しています。

閲覧室では、蔵書や絵図画像の閲覧、レファレンスや複写サービスに応じています。また、国の登録有形文化財に登録されている旧書庫棟を利用したエントランスホールでは、かつての書庫の様子を再現し、展示室では徳川美術館とともに、大名文化や古典籍をテーマにした展覧会を開催しています。



- 閲覧室／入室無料 館外貸し出しはいたしません。
 - 【開 架 図 書】午前9時30分～12時、午後1時～5時
 - 【開 架 図 書】午前9時30分～午後5時
 - 【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。
- 閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。
書庫内の資料は、検索・閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

徳川美術館・蓬左文庫共通

- 開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 - 休 館 日／月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)
年末年始:2023年12月16日(土)～2024年1月3日(水)
※GW期間(5月2日(火)～5月7日(日))は休まず開館
※8月14日(月)は臨時開館
- 観覧料** 〈一般〉1,600円 〈高・大生〉800円 〈小・中生〉500円
※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引 ※毎週土曜日、小・中・高生入館無料
- ※ 観覧料は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

徳川園

TEL (052) 935-8988
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <https://www.tokugawaen.aichi.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から溪谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える手法により武家社会の「豪快さ」を表現しています。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

- 開園時間／午前9時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)
 - 休 園 日／月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12月29日～1月1日)
 - 入 園 料／一般 300円 中学生以下無料
- 徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般 1,750円※
- ※ 一般の入園料(徳川美術館・蓬左文庫共通観覧)は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

ガーデンレストラン 徳川園 052-932-7887
日本料理 宝善亭 052-937-0147



徳川美術館

TEL (052) 935-6262
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017
ホームページ <https://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康9男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを取りめる美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の登録有形文化財に登録されています。

【名品コレクション展示室】約1ヶ月毎に展示作品が替わります

尾張徳川家伝来の名品を中心に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張徳川家当主の公的生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。



交通のごあんない

なごや観光ルートバス「メーグル」

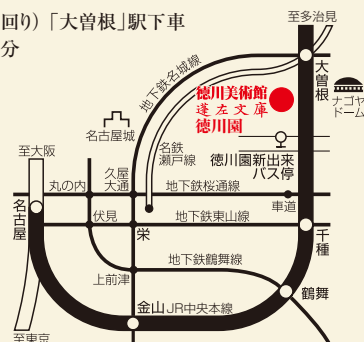
名古屋駅バスターミナル11番のりば
名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、土・日・休日は20分～30分に1本運行
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」停留所下車徒歩約1分

名古屋駅より

- 【市バス】名古屋駅バスターミナル10番のりば 基幹2系統「猪高車庫」ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分
- 【名鉄バス】名鉄バスセンター4番のりば 「三軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分
- 【J R】JR中央本線「多治見」方面ゆき「大曽根」駅下車
南出口から徒歩約10分
- 【地下鉄】桜通線「徳重」ゆき、「車道」駅下車1番出口より徒歩約15分

栄より

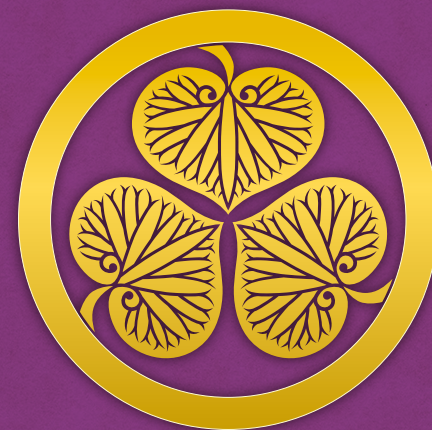
- 【市バス】栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば
基幹2系統「引山」、「四軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分
- 【地下鉄】市営地下鉄名城線(右回り)「大曽根」駅下車
E5番出口より徒歩約15分



二〇二三年度ご案内

徳川美術館 名古屋市蓬左文庫 徳川園

尾張徳川家ゆかりの地 大名文化の真髄が体感できる



3/28(火)~4/25(火) 4/26(水)~5/23(火) 5/24(水)~6/18(日) 6/20(火)~7/17(月・祝) 7/19(水)~8/20(日) 8/22(火)~9/24(日) 9/26(火)~10/15(日) 10/17(火)~11/17(金) 11/18(土)~12/15(金) 1/4(木)~1/30(火) 1/31(水)~2/27(火) 2/28(水)~3/24(日)

[1室] 特集展示「徳川家康」……1年を通して、1室では「徳川家康」ゆかりの作品を特別公開します。

[5室] [6室] ……1年を通して、5室では「国宝 初音の調度」を数点ずつ順次展示公開、6室では「国宝 源氏物語絵巻」を複製・映像・パネルで紹介しています。



【修理後初公開】国宝 初音時絵書棚(3/28~4/25)



紅地雷文・四ツ花菱文厚板(5/24~6/18)



重文 刀 銘 本作長義…(以下略)
(6/20~9/24)



重文 織部筒茶碗 銘 冬枯
(9/26~12/15)



【特別公開】
国宝 源氏物語絵巻
竹河(一)・東屋(二)
11/18(土)~11/26(日)



11/11(土)~12/15(金)

徳川林政史研究所開設100周年記念
特別展 将軍と尾張徳川家
-政と儀礼-

徳川林政史研究所は、江戸時代の幕政史や尾張藩政史の研究を進めてきました。将軍家と尾張家の関係性の深さに着目しつつ、歴史史料を通して江戸城や名古屋城における将軍・藩主の公務の実態を紹介します。

11/11(土)~12/15(金)

徳川林政史研究所開設100周年記念
企画展 尾張藩と木曾山
-徳川義親のまなざし-

徳川美術館の初代館長であり19代当主の徳川義親が、尾張藩が管理・運営した木曾山の研究を志し、徳川林政史研究所を開設して今年で100周年を迎えます。義親の木曾山研究の歩みや収集した数々の史料を紹介します。

古文書を読む義親(昭和10年(1935)・キング撮影)
徳川林政史研究所蔵



重文 三幅対の内狩野山雪筆
(1/4~1/30)



【特別公開】
千利休 泪の茶杓
2/23(金・祝)~3/3(日)



竹茶杓 銘 泪

4/15(土)~5/28(日)

特別展
大時絵展 - 漆と金の千年物語
漆で絵を描き、金銀粉を蒔きつけて文様を表す「蒔絵」。平安時代から現代の人間国宝に至るまで、選りすぐりの蒔絵の名品を紹介しながら、千年の蒔絵の歴史と日本人が追求した美の系譜を辿ります。



国宝 舟橋蒔絵硯箱 伝本阿弥光悦作
東京国立博物館蔵

6/3(土)~7/17(月・祝)

特別展
よそおいの美学
江戸時代の大名や夫人たちが、格式に相応しく、立派に、あるいは美しくよそおうために誂えられた衣服や装身具、刀剣・刀装具、美を具現する化粧、そして香りに至るまで、武家の美学を紹介します。



石首魚石入鱧色塗刀拵・脇差拵

7/23(日)~9/18(月・祝)

夏季特別展
徳川家康 - 天下人への歩み -
徳川家康の波乱の生涯を歴史史料などから辿るとともに、駿府御分物(家康の遺産)を中心に、軍事・政治・学問・芸能など、様々な側面に焦点を当て、家康像を紐解きます。



花色日の丸威胴丸具足 徳川家康着用(駿府御分物)

9/24(日)~11/5(日)

秋季特別展
人間讃歌 - 江戸の風俗画 -
戦国の乱世が終わり、泰平の世が到来した江戸時代、現世を謳歌する人々の姿を描いた風俗画が数多く登場しました。人を主題とした風俗画の名品を展示し、その普遍的かつ魅力あふれる世界を紹介します。



重文 本多平八郎家絵屏風



重文 遊楽図屏風(相応寺屏風)

2/3(土)~4/3(水)

特別展
尾張徳川家の雛まつり
江戸時代から伝来する雛人形・雛道具や、明治時代以降の3世代の尾張徳川家当主夫人たちの豪華な大雛段飾りなど、精巧かつ贅を尽くした尾張徳川家ゆかりの雛飾りをご堪能ください。



有職雛

4/15(土)~5/28(日)

企画展
能の世界 - 神・男・女・狂・鬼 -
日本の伝統芸能である能は600年の歴史を刻んだ舞台芸術です。能の演目の5つの分類である「神・男・女・狂・鬼」をテーマに能面・能装束を紹介いたします。



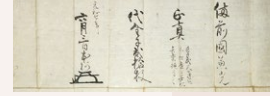
紅・白段金襴地に桜垂桜文織絨



能面 小面 伝是閑吉満作

6/3(土)~7/17(月・祝)

企画展
極める!江戸の鑑定
江戸時代には、刀剣や書蹟・絵画など、それぞれの分野で美術品の真贋や価値を評価する「鑑定」が行われていました。作品と折紙・極札・箱書といった鑑定の証から、鑑定の様相にも迫ります。



本阿弥光室折紙 元和七年六月三日
刀 無銘 兼光 附属



重文 紫地葵紋付葵の葉文辻ヶ花染羽織
徳川家康着用(駿府御分物)

11/11(土)~12/15(金)

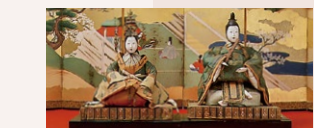
徳川林政史研究所開設100周年記念
企画展 尾張藩と木曾山
-徳川義親のまなざし-

徳川美術館の初代館長であり19代当主の徳川義親が、尾張藩が管理・運営した木曾山の研究を志し、徳川林政史研究所を開設して今年で100周年を迎えます。義親の木曾山研究の歩みや収集した数々の史料を紹介します。

古文書を読む義親(昭和10年(1935)・キング撮影)
徳川林政史研究所蔵

2/3(土)~4/3(水)

企画展
ひなを楽しむ - 旧家のひな飾り -
江戸時代から昭和に至るまでの旧家で飾られた様々なお雛さまを紹介します。大名家・尾張徳川家伝来の雛とは趣の異なる、素朴な中に親しみを感じさせてくれる旧家の桃の節供をお楽しみください。



古今雛

4/8(土)~23(日)

春を謡う 徳川園牡丹祭



5/27(土)~6/11(日)

雨を聴く 徳川園の和傘



8/11(金・祝)~15(火) 夜間開園

夜に憩う 徳川園 夕涼み



9/29(金)・30(土) 夜間開園

月を掬う 徳川園観月会



10/22(日)
名古屋まつり
無料開園

11/3(金・祝)

徳川園開園記念日
無料開園



11/14(火)~12/3(日)

錦を纏う 徳川園 紅葉祭

夜間開園 11/17(金)~19(日)、11/23(木・祝)~26(日)

12/13(水)~1/14(日)

松を寿ぐ 徳川園のお正月



1/2(火)~2/18(日)

寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹



12/29(金)~1/1(月)

年末年始休園

3/17(日)
徳川園起源の日
無料開園